

(様式3)

令和7年度 みんなが主役！しまねの公民館支援事業 実績報告書

市町村名	吉賀町	公民館等の名称	朝倉公民館
事業の目的	多世代が交流する空間づくりを通して、子どもたちが大人の生きる姿を感じてふるさとへの愛着や誇りを持つ。関わる大人は地域への協力意識を深め、将来を見据えた地域の課題解決にも繋げて貰いたい。		
事業の実施期間	1年目		
事業の内容	<p>【事業の対象】 地域の子ども達 アサクライズといった地域団体 地域住民</p> <p>【活動の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流の場づくり 多世代が集い交流する場として、以下の取組を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ものづくり活動（調理活動）・中国人の講師による本格的餃子作り ◇壁面アートづくり ・公民館エントランス映えスポット作成（月①実施） ◇イルミネーションづくり ・子ども通学路（徒歩、自転車）道端に設置 ・アサクライズ定期会議（月2回程度） <p>【集うためのしかけ・工夫】</p> <p><u>○集うことの負担感の軽減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせの時間を特別に設けず、別のサークルに参加する方に講師をお願いし、拘束時間を減らした。 ・当日集まる大人が『初対面』だと足が向きにくいので、事前に参加者の情報を伝えられる方にはある程度伝えておく。 ・打ち合わせによって決まった情報をすぐに共有し、なるべく一緒に考えたり行動したりする時間を確保出来るようにした。 <p><u>○参加者の広がり</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が中心に参画することで、その子どもも一緒に参加できるようにした。 ・別サークルの実施時間に合わせて打ち合わせの時間を設定することで、つながってほしい方同士が会える場を意図的につくる。 ・大きなイベントの際に、企画を担う地域住民にも他のサークルの出展内容を検討してもらったり、当日までの伴走支援を一緒にしてもらったりすることで、世代間の関係性を深める。 <p>【楽しむためのしかけ・工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場づくりを担う住民に対して、公民館主事が指示をするだけでなく問いや考える場を工夫し、自発的な意見や行動を引き出すようにした。また、前向きな言葉かけや価値づけを意識して行うと共に、イベント参加者からのポジティブな反応や反響を伝えた。これにより参画者が満足感を得て、次の活動への意欲を高めることにつながった。 ・イルミネーションづくりでは子ども達と一緒に地域を回り、イルミネーションの 		

	<p>設置場所や 置き方を決めるなど、子どもたちの声を尊重しながら活動を行った。</p> <p>○関係機関との連携（他館、他部局、公民館担当課との連携等について） 教育委員会担当者や他館の主事、及び地域の団体（アサクライズ・AKJ など）に相談 した。</p> 
<p>活動の様子などを周知した方法</p>	<p>館報 地区広報</p>
<p>成果・効果 課題 今後の見通し</p>	<p>○成果 本事業を行う上で、物理的な『場所』ではなく『居場所』としての空間づくりを意識して事業を行った。そのため、活動の講師や支援者は、子どもたちにとって他所からくる『知らない大人』ではなく、朝倉小学校児童の保護者など身近な大人が担った。保護者や地域住民は普段子どもたちと関わりがあり、顔見知りの関係であるが、一方で子どもたちと話したり遊んだりすることは多くない。放課後や長期休みにレクリエーションを行うなど、子どもたちの場づくりに保護者や身近な大人が参画することで、子どもと大人のつながりを作ることができた。朝倉の子どもと大人が、非日常の中で豊かなつながりのもとに行われる豊かな体験を共有することで、ふるさとへの愛着がさらに膨らんだと思われる。</p> <p>また、場づくりに参画する大人にとっても、子どもを中心に保護者から高齢者まで多様な世代での関わりが生まれ、新たな協働の関係性がつくられた。さらに、場づくりの過程を公民館が伴走支援していくことで、参画者の中に場づくりを行う上での気づきや学びが生まれ、新たな活動への意欲や主体的に取り組んでいこうとする姿が見られた。</p> <p>●課題 事業の中で多世代が参加する姿はもちろんあるが、固定メンバーが多い。新たなメンバーや繋がりが少ない異世代の交流方法をもっと増やせる仕掛けづくりを行うことが課題となる。</p> <p>【今後の展望】 住民の方々が興味関心から『楽しい』『やってみたい』と感じる活動を見つけ、自発的に参加できるネットワークを広げていき、地域のつながりや活性化を図っていきたい。</p>